

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム美ら徳

目標達成計画

作成日 : 平成 24 年 4 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災、自然災害時等の避難訓練の実施及び備蓄の取り組み。	・地域住民の協力体制構築 ・必要な介護資材等を備蓄し、非常時においてもケアが継続的に提供できるようにする。	・運営推進会議の委員である所在地の自治会長に協力を依頼し、併設老健と共に近隣住民に働きかけ、地域の協力者を確保できるようにする。 併設老健と協力して、非常時に必要となる介護資材について、一体的に備蓄する。	6ヶ月
	35	火災、自然災害時等の避難訓練の実施及び備蓄の取り組み。	・年2回の避難訓練の実施	・1月の調査日においては1回の実施となっていたが、3月に夜間想定避難訓練を実施し、平成24年度としては、11月と3月の2回実施となっている。次年度もさらに具体的な想定のもと、年2回実施する。	12ヶ月
2	1	地域密着型サービスの意義を踏まえた、事業所独自の理念の作成。	事業所独自の理念を作成して、事業所内に掲示し、グループホームとしての役割や姿勢を確認するとともに、利用者様を尊敬し、共に歩む喜びを感じられるよう、職員全員で共有し、質の高いケアを提供し、利用者様の満足感、生活の質の向上に生かしていく。	現在、職員全員から出されたキーワードや、介護に対する姿勢、思いを文章化する作業の途中である。地域密着型サービスの意義を再確認し、文章化作業を更に進め、完成させていく。完成した理念を毎日唱和し、日々意識を新たにケアに取り組んでいく。	6ヶ月
3	40	利用者と職員と一緒に食事の支度をしたり、同じ食事を食する事についての取り組み。	・利用者様の生活意欲の向上につながる様、毎日のおやつ作りや毎月の「くわっち一会」において、メニューを一緒に考え、支度、調理し、同じものを一緒に食するようにしたい。	・利用者様と一緒に食事を作り、全職員も一緒に食事する「くわっち一会」を毎月継続する。 ・利用者様の意向を確認しながら、輪番で職員と一緒におやつ作りをしていただき、食事作りに対する関心、意欲を高められるようにする。	12ヶ月
	40	利用者と職員と一緒に食事の支度をしたり、同じ食事を食する事についての取り組み。	・毎日1回は職員が利用者様と同じ食事を摂り、利用者様個々の好みの味つけ、食事の硬さの感じ方等を把握し、適切な食事の提供につなげる。	・毎日、職員1名が利用者様と共に昼食を摂り、利用者様と会話しながら嗜好や意見を聞き取り情報を記録として残していくようにする。食事の委託先と調整中で回答待ち。	3ヶ月

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
4	33	重度化や終末期における対応について、ご家族との話し合い、職員間の方針共有が未整備。	・利用者様、ご家族の希望に応じて、重度化した場合や終末期においても入居を継続していただき、適切な対応ができるようにする。	・同法人内で既に看取りの事例があるグループホームがあり、情報提供、指導を受け、マニュアルの作成、職員の勉強会を実施する。 ・ご家族と話し合いを持ったうえで方針を共有し、意向確認書(同意書)を作成する。	12ヶ月
5	26	現在、アセスメントやモニタリングを計画作成者(介護支援専門員)が対応しているが、チームでアセスメント、モニタリングを実施できるようにしたい。	・複数の職種、職員が協働して幅広い視点からアセスメント、モニタリングを行い、利用者様の能力を最大限に活用できるケアプランを作成するとともに、適切な時期に、適切な見直しが行えるようにする。 ・職員全員がケアプランを強く意識してケアを提供して、利用者様の心身の機能向上又は維持につなげる。	・認知症介護に適した新たなアセスメントツールを導入する。 ・全職員協働で利用者様の意向確認、モニタリングを実施し、定期的或いは随時のカンファレンスにおいて見直しを検討する。	12ヶ月
6	2	毎月、全員揃っての外出、家族や友人との外出、多くの訪問者によって、地域や知人、友人との交流は頻繁に行われてはいるが、地域で行われる行事への参加が実現できていない。	・公民館等で行われる敬老会や祭りに参加し、多くの方々と交流し、生き生きとした時間をもていただけるようにする。	・平成25年度から自治会に加入する。(自治会への連絡、加入の承諾済み) 行事等の情報を確認しながら、地域へ出かけ交流、活動の機会が持てるようにする。	12ヶ月
7	14	同業者との交流を通じた向上、ネットワークづくり	・他のグループホームと定期的に情報交換の場が持てるようにしたい。 ・グループホーム間の利用者相互訪問、交流の機会が持てるようにしたい。	・定例で管理者、職員が集まり情報交換できるよう、市内のグループホームに呼びかける。必要時には保険者にも呼びかけ参加を求める。(市高齢福祉課へ提案済み) ・集まりの中で話し合い、相互訪問の調整を行う。	12ヶ月